



第21回UPRUN川崎多摩川河川敷 マラソン大会は今年一番の晴天で開催

アップラン
1月5日に行われた第21回UPRUN川崎多摩川河川敷マラソン大会に神奈川県南支部の佐藤委員長、齋藤副委員長、大島書記長、赤羽組合員と佐藤委員長の娘さん（次女）の5人は午前11時スタートの5kmコースにエントリーしました。

5人はスタート会場となっている川崎市幸区内の多摩川河川敷にある古市場陸上競技場に約1時間前に集合して準備運動をしたり大会主催者の説明を聞いたりして思いおもいにスタート時刻を待ちます。

一方、この日は今年一番とも言える快晴で日差しを遮るものがない河川敷では気温がグングン上昇して



市民マラソン大会のコース全体図

大島・齋藤・佐藤・佐藤（娘）・赤羽 以上の順で仲間全員が無事に完走！

11:00 スタートのグループは、5km、10km、15km、親子参加5kmの4グループが同時にスタートします。元々のスピードが違うグループが一緒に走り出すとレースの序盤では早い方に引きずられる傾向があります。仲間のなかで序盤をトップで走っていた佐藤選手が2km付近の給水場でスピードが落ちて給水をしなかった大島・齋藤の両選手に後れを取ります。その時点で赤羽はズルズルと後退、やがて何度か歩くようになります。佐藤選手の娘選手は懸命に父親の後を追います。こうした形勢が最後までつづいてゴールしました。結果は上記のタイトルどおりで全員が無事に完走して大会主催者から「完走証」を贈られました。



市民マラソン大会5kmを完走した4人の雄姿

ちなみに5km全体の順位は大島選手7位、齋藤選手8位、佐藤選手9位、佐藤（娘）選手11位、赤羽選手14位でした。このあと4

選手は市内の天然温泉で汗を流しました。